

CG映像科

プロジェクトワーク9

対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	実技	時間数	60	単位	2	
担当教員	関野、山田			実務経験	有	職種	CGデザイナー、CGディレクター					

授業概要

デジタル演習などで習得したスキルを活用して個人またはグループで作品制作を行います。制作物は学内での講評会や、学外の展示会などで発表します。他学科とコラボレーションする場合があります。(プロジェクトワーク9はプロジェクトワーク8の続きの授業となります。)

到達目標

・個人、またはグループにて、実際の就職活動に使用する作品を完成させる。・学生個々のスキル、進路に応じて企画立案を行い、それぞれの特性に合わせ、作品のジャンルを設定することができるようになる。※学生個人、グループにて想定される作品ジャンルは、以下のとおり。2Dグラフィックス、3Dグラフィックス、モーショングラフィックス、CG映像

授業方法

2年次作品の講評にて、各自の課題を確認しつつ、企画立案～プレビス制作～企画チェック～作品制作～中間講評による課題確認～作品の仕上げと、現場と同等の作品制作の一連のプロセスを経て、就職活動に対応可能な作品を完成させる。映像編集、映像合成、VFXの技術レクチャーについては、各作品に必要な技術が習得できるよう、学生個人の選択制とする。

成績評価方法

試験・課題：50%課題作品が各自の企画通りに出来ているか、実習内の技術が正確に反映されているかで評価する。
成果発表（口頭・実技）：30%授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。平常点：20%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

履修上の注意

企画チェック、中間講評にて進捗および作品制作の注意点を明確化し、作品完成までの目標がぶれない様、注意する。出席が授業時限数の3/4を下回る場合、試験を受験する事はできない。

教科書教材

教材データは毎回配布、使用ソフトウェアはその都度指示

回数	授業計画
第1回	2年次作品講評会:2年次作品の仕上がり確認と各自の完成目標の理解
第2回	企画立案1:前期作品の企画出しを行う
第3回	企画立案2:前回の企画出しを基に、制作企画資料の作成を開始する

プロジェクトワーク9

第4回	企画立案3:制作企画資料を完成させる
第5回	制作進捗確認日1(全体):作品企画チェックを実施、各自の完成期日、作業予定を確立
第6回	作品制作1:企画チェックの内容をフィードバックし、作品制作の方向性を決定する
第7回	作品制作2:前週までの進捗を確認しつつ、プレビズの制作を開始する
第8回	作品制作3:前週までの進捗を確認しつつ、プレビズの制作を進行する
第9回	作品制作4:プレビズの進捗を確認しつつ、本データ制作予定を確立する
第10回	制作進捗確認日2(全体):前期作品の進行確認の為、各チーム、個人の制作進行資料を完成、提出する
第11回	作品制作5:2年次作品および、これまでの制作データによる、就職活動用のデモリール制作を開始する
第12回	作品制作6:デモリール、プレビズの発表と評価を行う
第13回	作品制作7:夏季休暇中の制作進行予定を立案する
第14回	作品制作8:夏季休暇中の制作物を反映、作品データの仕上げを行う
第15回	最終講評:前回までで制作された作品、データの講評を行う